

平成19事業年度 業務実績評価シート① 集計表

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	検証 結果	委員 人数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)		
第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置								
1 教育に関する目標を達成するための措置								
(1)教育の成果に関する目標を達成するための措置								
ア 学部教育								
資料P1	(ア)-1	a	III	IV	1	他教育機関の教育連携を評価		
		b	III					
	(ア)-2	a	IV			老人福祉施設の実習等、特色ある大学教育プログラムとして文部科学省補助事業に決定		
		b	IV			緩和ケア実習、ロールプレイを通じたケアマインド教育に		
		c	III	IV	1	「人間と社会」に関する教育を評価		
	資料P2	(ア)-3	a	III	IV	1	EBM教育を評価	
b			III	IV	1	情報に関するアプローチ教育を評価		
(イ)-1		a	III	IV	1	基礎医学について「考える能力」の養成を評価		
		b	III	IV	1	"		
(イ)-2		a	IV			国歌試験合格率97.5%、更に新卒者の合格率100%は大いに評価できる		
		b	III					
	c	III	IV	2	教育研究開発センターの活動を評価 教育研究開発センターが核となり和歌山5Pの会を設立、模擬患者を用いた教育			
資料P3	(イ)-2	a	IV					
		b	III	IV	1	障害者施設、保育所等への訪問カリキュラムの導入を評価		
	(イ)-3	a	III	IV	1	保健看護学部、医学部の共通協議を評価		
		b	III	IV	1	実習期間の延長を評価		
	(エ)-1	a	IV			老人福祉施設での5日間の実習は画期的な活動		
		b	IV			"		
c		III	IV	1	地域医療体験学習を評価			
d		IV			現代的教育ニーズ取組支援プログラムとして文部科学省の認定を受けた			
資料P4	(エ)-2	a	IV	III	1	学務室の設置により受け入れ教職員、留学生、学生の数が増加。今後、職員数を増やしケア。		
		b	IV			事務室の設置により受け入れ教職員、留学生、学生の数が増加。今後、職員数を増やしケア。		
イ 大学院教育								
資料P5	(ア)入学者受入れ及び入学者選抜を実現するための具体的方策	(ア)-1	III					
		(ア)-2	III					
		(ア)-3	IV			保健看護学研究科修士課程の認可、15名入学		
		(イ)-1	III	IV	1	外部研究者の招聘を評価		
		(イ)-2	III					
		(イ)-3	III					
(2)教育内容等に関する目標を達成するための措置								
ア 学部教育								
資料P5	(ア)入学者受入れ及び入学者選抜を実現するための具体的方策	a-1	(a)	IV				
			(b)	III	IV	1	学生の成績追跡調査と入札制度の改定を評価	
		a-2	(a)	III	IV	1	a-1に基づく配点の変更を評価	
			(b)	IV			県内高校を中心に進路指導教員24名に対する大学説明会及びオープンキャンパスの参加校21校、人員113名	
		資料P6	(イ)教育理念等に応じた教育課程を編成するための具体的方策	a-1	III			
				a-2	(a)	IV		
(b)	III							
a-3	III							
b-1	(a)	IV			臨床実習を地域の医療機関のみならず老人福祉施設にも拡大したこと			
	(b)	IV						
資料P7	(ウ)教育方法に関する具体的方策	a-1	III					

平成19事業年度 業務実績評価シート① 集計表

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	検証 結果	委員 人数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)	
資料P8			a-2 (a)	III			
			(b)	III			
			b-1 (a)	III			
			(b)	III			
			(c)	III			
			(d)	III			
			b-2	IV			
			b-3 (a)	III			
			(b)	III			
			b-4	III			
			c-1	III			
			c-2 (a)	IV			
			(b)	IV			
			(c)	III			

平成19事業年度 業務実績評価シート① 集計表

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	検証 結果	委員 人数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)		
	資料P9	(エ)成績評価等の実施に関する具体的方策						
		a	(a)	III				
			(b)	IV				
		b	(c)	III				
					III			
		c	(a)	III				
			(b)	III	IV	2	短期海外派遣制度の実践を評価、短期海外派遣制度により学生をアメリカへ3名、タイへ4名、中国へ4名派遣したこと	
		資料P10	(オ)卒業教育との連携に関する具体的方策					
			a	(a)	IV			卒前の学生を研修医として本校に定着させるために効果あり
				(b)	III	IV	1	救急教育の充実を歓迎
	b		(a)	III				
			(b)	III				
	イ 大学院教育							
	資料P11	(フ)入学者受け入れ及び入学者選抜を実現するための具体的方策						
		a		III	IV	1	昼夜開講を評価	
					IV			リカレント教育により修士課程入学者が増
		c	(a)	III	IV	2	博士課程の門戸の拡大を評価 入学時期を10月に変更すると共に、特別講義時間を遅い時間に開始するなど博士課程の入学生雑煮貢献	
			(b)	III	IV	2	博士課程の門戸の拡大を評価 入学時期を10月に変更すると共に、特別講義時間を遅い時間に開始するなど博士課程の入学生雑煮貢献	
			(c)	III	IV	1	博士課程の門戸の拡大を評価	
		(イ)教育理念等に応じた教育課程を編成するための具体的方策						
a-1			III	IV	1	講師選択の拡大を評価		
			III	IV	1	"		
			III	IV	1	"		
			III					
			III					
(ウ)教育方法に関する具体的方策								
a-1			III	IV	1	外部講師による特別講義と交流を評価		
		III	IV	1	研究内容の情報公開を評価			
		III						
資料P12	(エ)成績評価等の実施に関する具体的方策							
	a		II	III	2	管理者の手がない中で大変な努力をしている。		
	b		III					
(3) 教育の実施体制等に関する目標と達成するための措置								
資料P13	ア 適切な教職員の配置等に関する具体的方策							
	(ア)		該当なし					
	(イ)	a		III				
		b		III				
	(ウ)		III					
	イ 教育に必要な設備、図書館、情報ネットワーク等の活用・整備の具体的方策							
	(ア)		IV			スキルラボの充実に効果		
	(イ)	a		III			図書館の開館時間の延長	
		b		III				
	(ウ)		III					
	(エ)		III					
	ウ 教育の質の改善につなげるための具体的方策							
	資料P14	(ア)		III				
(イ)-1		a		III				
		b		III				
(イ)-2			III					
(イ)-3		a		III				
		b		III				
c			III	II	1	大学院修了者の進路業務調査を検討		

平成19事業年度 業務実績評価シート① 集計表

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	検証 結果	委員 人数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)	
3 附属病院に関する目標を達成するための措置							
(1)教育及び研修機能を充実するための具体的方策							
資料P21	アー1		III				
			IV			福祉施設以外にも保育所や障害者施設の実習を通じ、ケアマインド教育に効果をあげた	
	イー1	(ア)	IV			MDアンダーソンがんセンターにおける海外研修	
		(イ)	III	IV	1	非入局、学際的プログラムの新設を評価	
	イー2		III	IV	1	地域施設に向けられた研修プログラムを評価	
			III				
	イー4		IV				
			IV				
	資料P22	ウー1		IV			
		ウー2		III	IV	1	高齢者医療プログラムを評価
エー1		(ア)	IV			地域連携室でがん診療連携拠点病院相談支援センター業務を行う がん相談342件	
	(イ)	III					
資料P23	エー2	(ウ)	IV			紀北分院の広報活動	
			III	IV	1	県立医大としての役割をよく果たしている	
(2)研究を推進するための具体的方策							
資料P24	アー1	(ア)	IV				
		(イ)	IV				
	アー2		III				
			III				
	アー3	(ア)	III				
		(イ)	III				
	イー1		III				
			III				
	ウ		IV			医療安全相談室を設置し、専任の薬剤師、看護師を配置	
	(3)地域医療への貢献と医療の実践を達成するための具体的方策						
資料P25	アー1	(ア)	III				
		(イ)	III				
		(ウ)	III				
		(エ)	III				
	アー2	(ア)	III				
		(イ)	III				
	イー1		III				
			III	IV	1	リュウマチ・膠原病外来を新設、3講座の連携を評価	
	イー3		IV			財団法人日本医療機能評価機構に認定された	
			III				
資料P26	イー4	(ア)	III				
		(イ)	III				
	イー5	(ア)	III				
		(イ)	III				
資料P27	イー6	(ア)	IV	III	2	(附属病院)個別対応治療食は通常行われるべき対応 (紀北分院)栄養管理計画書の作成も基本的なこと 通常病院で行われていること	
		(イ)	IV			NTS	
	ウー1	(ア)	IV			地域連携室業務	
		(イ)	IV			看護相談室 昨年の2倍の件数	
資料P28	ウー2		IV			ヘリの運航が昨年より32件増の379件	
			III				
	ウー3		該当なし			問題多し、説明がほしい	
			該当なし				
(4)医療安全体制の充実に関する具体的方策							
資料P28	ア		IV				
		(ア)	III				
	イ	(ア)	III				
		(イ)	III				
	ウ		III				
エ		III					

平成19事業年度 業務実績評価シート① 集計表

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	検証 結果	委員 人数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)	
(5)病院運営に関する具体的方策							
資料P29	アー1	(ア)	IV			化学療法センターの設置 患者数 月500人程度	
		(イ)	III				
		(ウ)	該当なし			各診断書の迅速化の成果は？	
		(エ)	III				
	アー2		IV	III	1	患者満足度向上の実績がないため	
	アー3	(ア)	IV			医学部学生、看護学部学生に病院ボランティアの活動を紹介し、ボランティア人数を100名近く増員	
		(イ)	III				
	資料P30	イー1	(ア)	III	II	1	未収金回収は難しく成果が乏しいのが普通です。専従者1名で良いと考えます。未収金を発生させない組織フローの構築
			(イ)	III			
		イー2		IV			預託方式による在庫の縮小、在庫縮減効果47.2%
イー3			IV			DPCデータを活用し、経営分析システムを導入	
イー4			III				
イー5		(ア)	III				
	(イ)	II	III	1	前年度稼働率より約13%UP、平均在院日数も0.1日短縮 努力が伺われる		
UP							
		ア	III				
		イ	III				
4 地域貢献に関する目標を達成するための措置							
資料P31	(1)-1	ア	IV	III	1	具体的な検討結果がわからない	
		イ	III				
		ウ	III				
	(1)-2		IV				
	(1)-3		III				
資料P32	(1)-4		該当なし			へき地医療(診療所)の包括支援はどうなっていますか？	
	(1)-5		IV			県がん診療連携協議会を立ち上げ、150人に研修会を実施	
	(2)-1		III				
			IV				
	(3)		III				
	(4)-1	ア	III				
		イ	IV			現代的教育ニーズ取組支援プログラムとしての活動	
	(4)-2		III	IV	1	両附属病院による出前講座を評価	
	(5)-1		III				
	(5)-2		IV			観光企画	
5 産官学の連携に関する目標を達成するための措置							
資料P34	(1)		IV				
	(2)		IV				
	(3)		III				
	(4)	ア	III	IV	1	学部教育(ア)ー1、aと同じ	
		イ	III				
6 国際交流に関する目標を達成するための措置							
資料P35	(1)		III				
	(2)		IV	III	1	センター事務室を設置したというが、情報機器や事務備品を整備したに留まり、専従スタッフも置いていない現段階では、普通の評価に	
	(3)		IV				
	(4)		IV				
	(5)		該当なし			国際貢献活動を是非実施してほしい	

平成19事業年度 業務実績評価シート① 集計表

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	検証 結果	委員 人数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置						
1 運営体制の改善に関する目標を達成するための措置						
資料P36	(1)-1		III			
	(1)-2		該当なし			
	(1)-3	ア	III			企画戦略機構の検討内容とは？
		イ	IV			
	(1)-4		III			同上、、(1)-3、アと同じ
(1)-5		III				
資料P37	(1)-6	ア	III			
		イ	III			
	(2)-1		III			
	(2)-2		IV			
2 教育研究組織の見直しに関する目標を達成するための措置						
資料P38	(1)		III			
	(2)		II			やむを得ない、努力を願う
3 人事の適正化に関する目標を達成するための措置						
資料P39	(1)-1		III			
	(1)-2		III			
	(1)-3		III			
	(1)-4		III			
	(1)-5	ア	IV			女性医師支援センター(女性医療人支援センター)の設置
		イ	III			
	(1)-6		IV			臨床教授2名任命
	(2)-1		III			
(2)-2		III				
4 事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置						
資料P41	(1)	ア	III			企画課、施設管理課の新設
		イ	III			
	(2)		III			
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置						
1 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置						
資料P42	(1)		IV			産官学連携本部 外部資金の導入推進
	(2)		該当なし			知的財産の一元管理システム構築は研究内容の評価にもつながるかと考えます。
	(3)		該当なし			
	(4)	ア	III			
		イ	III			テナント業者の検討の結果は？
	(5)	ア	III			
イ	II	III	1		努力したが目標値が高すぎたのではないかと	
2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置						
資料P44	(1)	ア	III			
		イ	III	IV	1	コージェネレーションの運用見直しにより、243百万円のコスト削減をしたが、エネルギー使用量の削減出来ず
	(2)		III			
	(3)		III			
(4)		III	IV	1	あらゆる面で経費削減の努力が見られた	
3 資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置						
資料P45	(1)		III			

平成19事業年度 業務実績評価シート① 集計表

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	検証 結果	委員 人数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)	
第5 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自らが行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置							
1 評価の充実に関する目標を達成するための措置							
資料P46	(1)		III				
	(2)	ア	III				
		イ	III				
	(3)		IV			財団法人日本医療機能評価機構の認定を受けた	
	(4)		III				
(5)		III					
2 情報公開等の推進に関する目標を達成するための措置							
資料P47	(1)-1	ア	III				
		イ	III				
	(1)-2		III				
	(1)-3		III				
	(2)		III				
第6 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置							
1 施設及び設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置							
資料P48	(1)-1	ア	III				
		イ	III				
		ウ	III				
	(1)-2		III				
	(1)-3		III				
	(1)-4		III				
(2)	ア	III					
	イ	III					
2 安全管理に関する目標を達成するための措置							
資料P50	(1)-1	ア	IV	III	1	健康管理センター設置と産業医を配置	
		イ	III			衛生工学衛生管理者の選定	
		ウ	III			教職員の健康診断受診率98.1%で昨年より1.5%UP 努力がみられる	
	(1)-2		III				
	(1)-3		III				
	(2)	ア	III				
イ		III					
3 基本的人権の尊重に関する目標を達成するための措置							
資料P52	(1)		III				
	(2)		III				
	(3)	ア	III				
		イ	III				
	(4)		III				
	(5)		III				
(6)		III			外部資金の導入		